



インフルエンザ注意報発令中

感染症予防ニュースレター

Vol. 4

インフルエンザ

区内定点あたりの患者報告数が、第2週（1/6～1/12）の定点で8.17でした。

市全体からみると中区の報告数は少ない方ですが、幼稚園・小学校の学級・学年閉鎖や、保育施設からの10名以上の患者報告が1月の連休明けから増加しています。

お子さんだけでなく、職員のみなさまも健康観察をしっかりと行い、体調不良時は発症後12～48時間以内に医療機関を受診しましょう。

流行期は、流行っているクラス・学年との交流をできるだけ避けるなど、集団発生とならないよう臨機応変な対応をお願いしたいものです。

引き続きこまめな手洗い、部屋の換気、園内の消毒も忘れずに！



かかってしまったら…

インフルエンザは異常行動がみられることが時にあります。窓からの飛び降りなど出来ないような安全な部屋で寝かせるようにし、目を離さないよう保護者の方には指導してください。

感染性胃腸炎

年末から1月の連休明けにかけ、感染性胃腸炎による集団発生が、中区内の保育施設で報告されています。嘔吐下痢症状の児がみられるようであれば、次亜塩素酸ナトリウムによる消毒に切り替え、園のマニキュアルに沿って適切に処理できるようお願いします。

右記の届け出基準に達しなくても早めの報告をお願いします。

感染症集団発生届け出基準（保育施設等）

- 1週間以内に重篤者又は死亡者が2人以上発生
- 10名以上または全利用者の半数以上が発生
- 通常の発生動向が上回る発生